

I. 事業の概要

1. 大原美術館の本年度入館者数及び開館日数

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
入館者数	240,440 人	237,127 人	3,313 人	101 %
開館日数	308 日	292 日	16 日	105 %
臨時休館	2 日	32 日	△ 30 日	
	R6.8/30.31	自 R6.1/16 至 R6.2/16		

<月別比較>

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
4月	16,722 人	19,164 人	△ 2,442 人	87 %
5月	26,323 人	28,419 人	△ 2,096 人	93 %
6月	17,423 人	18,144 人	△ 721 人	96 %
7月	17,093 人	16,991 人	102 人	101 %
8月	24,201 人	25,701 人	△ 1,500 人	94 %
9月	20,377 人	22,066 人	△ 1,689 人	92 %
10月	26,182 人	28,838 人	△ 2,656 人	91 %
11月	27,255 人	27,085 人	170 人	101 %
12月	13,668 人	12,123 人	1,545 人	113 %
1月	11,128 人	5,063 人	6,065 人	220 %
2月	14,283 人	7,805 人	6,478 人	183 %
3月	25,785 人	25,728 人	57 人	100 %
合 計	240,440 人	237,127 人	3,313 人	101 %

<内 訳>

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
個 人	229,253 人	223,873 人	5,380 人	102 %
無 料	11,187 人	13,254 人	△ 2,067 人	84 %
計	240,440 人	237,127 人	3,313 人	101 %

2. 倉敷考古館の本年度入館者数及び開館日数

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
入館者数	3,228 人	- 人	3,228 人	- %
開館日数	169 日	- 日	169 日	- %
臨時休館	2 日	- 日	2 日	
	R6.8/30.31			

< 月別比較 >

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
4月	180 人	- 人	180 人	- %
5月	196 人	- 人	196 人	- %
6月	173 人	- 人	173 人	- %
7月	158 人	- 人	158 人	- %
8月	204 人	- 人	204 人	- %
9月	268 人	- 人	268 人	- %
10月	381 人	- 人	381 人	- %
11月	291 人	- 人	291 人	- %
12月	187 人	- 人	187 人	- %
1月	190 人	- 人	190 人	- %
2月	227 人	- 人	227 人	- %
3月	773 人	- 人	773 人	- %
合 計	3,228 人	- 人	3,228 人	- %

< 内 訳 >

	本 年 度	前 年 度	増 減	前年比
個 人	2,633 人	- 人	2,633 人	- %
無 料	595 人	- 人	595 人	- %
計	3,228 人	- 人	3,228 人	- %

(1)調査・研究事業**ア. 所蔵品、および所蔵する歴史資料の調査・研究****所蔵品調査**

総目録作成とデジタルデータベースの整備を視野に、日本人作家およびバーナード・リーチの作品調査を中心に行った。

歴史資料調査

各館内で保管する歴史資料の調査、データ整理。

イ. 所蔵品、および所蔵する歴史資料に関わる調査・研究**児島家所蔵児島虎次郎関連資料調査**

児島家所蔵の児島虎次郎関係資料の調査を実施。資料撮影、リスト化と読み起こしを中心に進めた。

児島虎次郎 油彩画総目録の作成

調査とデータを整備し、「児島虎次郎 油彩画総目録(ウェブ版)」を大原美術館のウェブサイト上で公開。

ウ. 所蔵品、および資料に関する情報のデータベース整備**所蔵品管理システムArtizeの整備**

所蔵品管理システムArtize(アルタイズ)の運用に向けての整備を2025年度本格始動するための準備。

エ. 大学、研究機関との共同研究**岡山理科大学と倉敷考古館との共同研究**

岡山理科大学所蔵の考古館発掘ガラス乾板整理と洞窟遺跡の撮影を行った。

佐世保市教育委員会と倉敷考古館との共同研究

展示会に向けての長崎県出土資料の整理を行った。

岡山大学・萩原工業・大原美術館との共同研究

美術作品の対話型鑑賞における心理的安全性の効果についての研究を実施した。

東北大学と大原美術館との共同研究

研究題目「大原美術館における『未就学児童対象プログラム』に関する調査」を発表した。

オ. ウエスコ学術振興財団助成研究

研究題目「公益財団法人大原芸術財団所蔵の考古学分野コレクションの整理と研究」で助成が採択され実施した。

カ. 外部研究者による調査の受入

所蔵品、および所蔵する歴史資料の熟覧依頼などの受入を行った。

調査依頼受入：大原美術館5件、倉敷考古館9件。画像提供依頼受入：大原美術館3件、倉敷考古館0件。

キ. 図書・文献資料管理

寄贈図書の受入、所蔵品および施設に関わる図書・文献資料の購入および登録、管理を行った。また、図書室の整備やそれに伴う資料分類の見直しをはかり、司書・アーキビスト採用に向けての他館視察およびヒアリングを行った。また、あらたに倉敷駅前ビルの一室を㈱三楽から賃借し、保管場所を確保した。

(2)展示事業

ア. 特別展

異文化は共鳴するのか？大原コレクションでひらく近代への扉

所蔵作品を核とした三浦館長の企画による展覧会。関連事業として、館長による講演、およびシンポジウムを開催した。

会期：令和6年4月23日(火)～9月23日(月・祝)／会場：大原美術館本館／入館者数：112,038人／主催：公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所・大原美術館／共催：山陽新聞社／後援：岡山県、倉敷市、NHK岡山放送局、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送、倉敷ケーブルテレビ、FM岡山、FMくらしき、大原美術館後援会

イ. 連携展

2024連携展 硝子ニ寫シタ考古學

岡山理科大学との連携展。岡山理科大学所蔵のガラス乾板による発掘記録写真と出土品の展示。

会期：令和6年10月4日(金)～12月1日(日)／会場：倉敷考古館／主催：岡山理科大学博物館学芸員課程、公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所・倉敷考古館

2024連携展 空から見た洞窟遺跡

洞窟遺跡をテーマに複数館で行う展示会。倉敷考古館は遺跡の航空写真と福井洞窟遺跡出土品を展示。

会期：令和6年12月6日(金)～令和7年3月9日(日)／会場：倉敷考古館／主催：佐世保市教育委員会、岡山理科大学、公益財団法人大原芸術財団 大原芸術研究所・倉敷考古館／後援：伊万里市教育委員会、唐津市教育委員会、佐伯市教育委員会、対馬市教育委員会、中津市教育委員会

ウ. その他展覧会

特別展「大原美術館所蔵 20世紀美術の巨匠たち♡ ウォーホル、ロスコ、リキテンスタイン」

大原芸術財団のコレクションから20世紀美術をまとめて出品した展覧会。

会期：令和7年1月18日(土)～4月6日(日)／会場：大阪中之島香雪美術館／主催：公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社／協力：公益財団法人大原芸術財団

エ. 所蔵作品展

OHARAコレクション・ハイライト 収集の軌跡：絵画・彫刻編

大原美術館所蔵品によるテーマ展示。初期から現在までのコレクション形成の歴史を概観・紹介するもの。

会期：令和6年9月28日(土)～／会場：大原美術館 本館

(3)児島虎次郎記念館開館準備

2025年3月末の児島虎次郎記念館開館に向けて、その展示の構築、収蔵庫への作品収納、資料室の完成、およびそれらにむけての準備作業を行った。

(4)現代作家支援・交流事業

「作家協同交流事業」としてコンセプトを再構築し、それに基づきARKO、AM倉敷、そしてVOCA大原美術館賞の在り方といった事業全体の見直しを行った。ARKOは2年単位での実施、AM倉敷は現代作家展(仮称)に吸収、VOCA大原美術館賞は2025年度で終了とした。

VOCA2025大原美術館賞

高木優希《ROOM》を受賞作品とした。

40歳以下の若手作家が新作の平面作品出品する現代美術展VOCA(The Vision of Contemporary Art)に大原美術館賞を設けることで若手作家を支援する。当年度より作品収蔵をするかどうか検討。

(5)教育普及事業

ア. 包括的教育普及企画

チルドレンズ・アート・ミュージアム

チルドレン・アート・ミュージアムの再構築を行い、すべての方、特に、育児・介護・障がい者支援に関わる方がこの機会を通してミュージアムの楽しみ方を知ること、その先にいる赤ちゃん、子ども、障がいのある方、高齢者などの来館促進につながることを目指す「なんなんDAYS」という新規企画を2025年度より実施することとした。

イ. ワークショップ

いこう de オオハラ

所蔵作品・建築物などに親しむ多彩なワークショップ・プログラム。

■あなたが作るマイミュージアム～とっておきの展示室を作ってみよう！～

日程：令和6年5月11 日(土)計2回／会場：大原美術館本館や研修室／定員：各回12名／対象：小学生以上／参加者：8人

■ワクワク子ども鑑賞ツアー！～彫刻編～

日程：令和6年6月15 日(土)計3回／会場：大原美術館本館、分館前 ※雨天時は、大原美術館本館、工芸・東洋館(石仏室)／定員：各回12人／対象：5歳児以上、小学生／参加者：16人

■モネさんもビックリ！アートで咲かせよう睡蓮の花

日程：令和6年7月27 日(土)、28 日(日)計4回／会場：大原美術館本館や研修室／定員：各回12 名／対象：5歳児以上／参加者：33人

■絵の具に混ぜて作ってみよう！実験！？ツルツル・ざらざら・でこぼこの山

日程：令和6年8月11 日(日)計2回／会場：大原美術館本館や研修室／定員：各回12人／対象：回によって5歳児以上および小学生と、小学生以上に分かれる／参加者：15人

■ワクワク鑑賞ツアー ～工芸・東洋館には何があるの？～

日程：令和6年9月21日(土)計4回／会場：大原美術館工芸・東洋館／定員：各回12人／対象：どなたでも／参加者：63人

■ワクワク鑑賞ツアー ～野外彫刻編～

日程：令和6年10月19日(土)計3回／会場：大原美術館分館前芝生広場／定員：各回12人／対象：回によって0～5歳児とその保護者、小学生以上／参加者：9人

■落款ってなあに？ 消しゴムハンコで落款づくり！

日程：令和6年11月23日(土・祝)計2回／会場：大原美術館工芸・東洋館、研修室／定員：各回10人／対象：10歳以上／参加者：6人

■大人のための「じっくり、ゆっくり、スケッチでアートと対話」

日程：令和6年12月14日(土)計1回／会場：大原美術館本館／定員：10名／対象：18歳以上／参加者：6名

■重曹アートでポストカードの額縁づくり

日程：令和7年2月22日(土)／会場：大原美術館本館、研修室／定員：10名／対象：小学生以上／参加者：9名

■絵運!?絵運画みくじ ～気軽に楽しむこの一点～

日程：令和7年3月9日(日)／会場：大原美術館本館、アトリウム／定員：先着順100人／対象：どなたでも／参加者：388人

銅鏡をつくろう

考古館、美術館双方に収蔵のある銅鏡を鋳造研磨する体験ワークショップ。

日程：令和6年8月8・9・17・24・31日計5回／会場：倉敷考古館／定員：各回14名／対象：小学4年生以上／参加者：20人

フレンドリートーク ボランティア・スタッフ「アテンダント・スタッフ」による大原美術館展示室内での対話型鑑賞ツアー。 日程：毎月第2・第4 土曜日、日曜日(各日2回)／会場：大原美術館本館／定員：各回6人
ウ. 学校・園との協働プログラム 学校まるごと美術館 休館日に近隣小学校の児童全員が来館。大原美術館やその作品を教材とした授業を学年毎に実施。 実施日：令和6年12月9日(月)、令和7年2025年2月3日(月)／実施場所：大原美術館館内各所／参加校：倉敷市立倉敷東小学校(児童350人、引率16人)、倉敷市立倉敷西小学校(児童240人、引率16人参加)
未就学児対象プログラム おさんぽ美術館 参加園28園、参加園児 延べ1,736人、引率28人、実施回数71回／単発園11園、参加園児 377人、引率65人、実施回数11回 保育園・幼稚園・こども園の児童が来館し、鑑賞・パズル・模写などのプログラムを体験。 実施日：各園と相談の上決定／実施場所：大原美術館本館や工芸・東洋館、倉敷考古館／参加園：倉敷市内ほかの保育園・幼稚園・こども園28園(71回)、および単発参加園11園(11回)
倉敷中央病院院内学級訪問 倉敷中央病院院内学級をスタッフが訪問して、各種ワークショップやプログラムを実施。 4回実施／実施場所：倉敷中央病院院内学級(倉敷市立倉敷東小学校、倉敷市立東中学校)、川崎医科大学附属病院院内学級／参加者39人
エ. 出張講演、出張ワークショップ スタッフが依頼先へ出向いて実施する講演やワークショップ。福武財団との事業「ハローミュージアム」参加校も含む。 実施日：依頼に応じて随時／実施場所：学校ほか各種施設／参加者：43団体2,897人
オ. 学校団体への鑑賞支援事業 大原美術館 学生団体イブニングツアー 閉館後の美術館を貸し切りで楽しむツアー。「大原美術館について」10 分程度レクチャー後、自由鑑賞。 実施日：依頼に応じて随時／実施場所：大原美術館本館／参加者：1校、生徒115人、引率9人
ウェルカム・プログラム、対話型鑑賞 入館前の「観賞マナーについて」などのレクチャーや、スタッフと対話しながら鑑賞する、学校団体向けのプログラム。 実施日：依頼に応じて随時／実施場所：大原美術館本館など／参加者：223団体、児童・生徒13,846人、引率1,087人
倉敷芸術科学大学(1年生対象)対話型鑑賞プログラム 倉敷芸術科学大学では制作体験・対話型鑑賞を授業化することを目指した体験型授業を開発し、その一環として当館で対話型鑑賞を実施した。 実施日：令和6年5月11日(土)・12日(日)、6月29日(土)・30日(日)、10月12日(土)・13日(日)、12月7日(土)・8日(日)／実施場所：大原美術館本館／参加者：学生377人
カ. 研修受入 企業の職員、大学の学生などの受入。 自己研鑽を目的とした、作品鑑賞や美術館機能の実体験にとどまらぬ複合型研修。 実施日：依頼に応じて随時／企業研修19回実施／実施場所：大原美術館(15回)、倉敷考古館(4回)など

キ. 実習受入	
職場体験の受入	
中・高校生の職場体験、大学の短期インターンシップの受入。 実施日：依頼に応じて随時／実施場所：大原美術館本館、倉敷考古館など／10校38人	
博物館実習の受入	
公募によって博物館実習の受入を募る。大原美術館で年1回、倉敷考古館で年2回実施。 〔大原美術館会場〕実施日：令和6年9月3日(火)～9月7日(土)／実施場所：大原美術館、倉敷物語館／定員：15名程度／対象：大学生／参加者：19人 〔倉敷考古館会場〕実施日：令和6年8月21日(水)～8月25日(日)、8月29日(木)～9月1日(月)／実施場所：倉敷考古館／定員：各回5名程度／対象：大学生／参加者：10名	
ク. ボランティア・スタッフの受入	
アテンダント・スタッフの受入	
大原美術館の活動にボランティアな立場で携わるスタッフの受入やその活動の運営。 活動人数：39人(令和6年度末現在)／随時活動／活動場所：大原美術館など	
ジュニア・アテンダント・スタッフの受入	
大原美術館の活動にボランティアな立場で携わるスタッフ(16歳以上20歳以下)の受入やその活動の運営。 活動人数：17人／活動回数25回／実施場所：大原美術館など	
ケ. その他	
大原美術館を活用したい先生のための美術館体験会	
小・中・高など学校の教諭を対象に、大原美術館の歴史、美術館での過ごし方などを紹介。子どもたちの学習に役立ててもらうことを目的としたプログラム。 実施日：令和6年8月6日(火)／実施場所：大原美術館／参加者：11人	
(6)鑑賞支援事業	
一般向け特別プラン	
有隣荘特別プラン	
通常非公開の有隣荘を事前予約の団体限定で特別公開。特別解説員が、建物の歴史、時代背景、展示作品などを紹介するプラン。有隣荘の工事期間中の実施はなし。 実施日：年間で11件／実施場所：有隣荘／参加者：264人	
歴史探訪	
大原家ゆかりの建物を、その歴史についての解説を聞きながら巡るツアー。 実施日：年間で1件のみ受付／実施場所：大原美術館(本館、分館、工芸・東洋館、児島虎次郎記念館、有隣荘)、倉敷考古館、倉敷民藝館、語らい座大原本邸／参加者：20人	
大原美術館 モーニングツアー	
開館前の美術館を貸し切り、特別解説員と語り合いながら展示室をまわる予約団体対象のツアー。 実施日：年間で10件／実施場所：大原美術館本館／参加者：110人	
大原美術館 モーニングツアー(個人募集型)	
開館前の美術館を貸し切り、特別解説員と語り合いながら展示室をまわるツアー。 実施日：年間で18回／実施場所：大原美術館本館／参加者：398人	
大原美術館 イブニングツアー	
閉館後の美術館を貸し切り、特別解説員と語り合いながら展示室をまわる予約団体対象のツアー。 実施日：年間で48件／実施場所：大原美術館本館／参加者：1,059人	

ミステリーツアー 閉館後の大原美術館工芸・東洋館さらに倉敷考古館で、夜ならではの観察体験。案内人にいざなわれてミステリアスな夜のミュージアムの謎を解こう！ 実施日：令和6年9月28日(土)10人、10月12日(土)7人、10月26日(土)11人、11月9日(土)15人、11月23日(土)27人／実施場所：大原美術館工芸・東洋館、倉敷考古館
作品解説・レクチャー 学芸員や解説員による、大原美術館の歴史や作品について観賞前に実施するレクチャー。 実施日：年間で15分レクチャーは55件1,199人、30分レクチャーは27件417人、60分レクチャーは0件／実施場所：大原美術館研修室など
招宴 イブニングツアーと展示室などを会場にした飲食を伴うパーティーの受入。 実施日：令和6年5月13日(月)34人、6月27日(木)49人、令和7年3月8日(土)24人／実施場所：大原美術館本館など
(7)出版事業 下記の刊行に加えて、『大原芸術研究所紀要』第1号、大原研究所の叢書、『大原美術館＋ 作品151と建築』（2022年、公益財団法人大原美術館）英語版作成を準備した。 『異文化は共鳴するのか？ 大原コレクションでひらく近代への扉』展図録 特別展「異文化は共鳴するのか？ 大原コレクションで開く近代への扉」展の図録。展覧会の内容ほか、三浦館長、大原美術館研究員の論考を掲載。
(8)作品貸出 所蔵品、および所蔵する歴史資料の貸出依頼に対応。10件の展覧会に対して所蔵品を貸出した。
(9)作品収集 次の作品の新規収蔵。 VOCA2024大原美術館賞受賞作品（上原沙也加《幽霊たちの庭》）
(10)作品修復 展覧会への貸出に伴う保存処置。一般財団法人クラレ財団の助成による所蔵作品修復として実施した。 児島虎次郎《祭の夜（カーニバル）》（登録番号：4103）の額、《溪流》（登録番号：4152）、《風景》（登録番号：4004）、《蘇州城外》（登録番号：4134）の保存処置。
(11)PR 事業 FM ぐらしき「あーと@オオハラ」 森川事務局長がラジオ番組のディレクションおよびパーソナリティーをつとめた。 放送日：毎週金曜日／放送：FM ぐらしき／スポンサー：大原美術館ミュージアムショップ株式会社 FM おかやま「アート・美・ト・大原美術館」 柳沢シニアアドバイザーがラジオ番組のディレクションおよびパーソナリティーをつとめた。 放送日：毎月第3木曜日／放送：FM 岡山／スポンサー：溝手社会保険労務士法人、あなぶきエンタープライズ
オンラインでの情報発信 大原美術館ホームページや投稿サービス note、SNS サービス(X、Facebook、Instagramなど)、アカウントの運営および情報発信。休館日以外毎日発信した。
キャラバン活動 外部団体のイベント会場などでのワークショップや物販による、大原美術館のPR。 実施日：依頼に応じて随時、4回実施、参加者429人／実施場所：イベント会場

(12)収益事業	
貸会場	
ラルフローレン展示会	
実施日：令和6年5月11日～12日(準備期間：5月9日～13日)／実施場所：大原美術館 児島虎次郎記念館	
中庭マルシェ	
実施日：令和7年3月9日(日)来場者約1,000人／実施場所：大原美術館 工芸・東洋館中庭	
(13)修繕・整備	
有隣荘修繕	
有隣荘内のトイレ、廊下の漆喰、雨漏り改修、1階の畳替え等の修繕を行った。 実施期間：令和6年4月～8月	
児島虎次郎記念館整備	
2025年4月3日の児島虎次郎記念館開館に向けて、展示室内などの整備を行った。 実施期間：～令和7年3月	
(14)その他	
大原美術館後援会会員イベント「異文化は共鳴するのか」展 ギャラリーツアー	
実施日：令和6年年8月17日(土)／会場：大原美術館 本館	
大原美術館で高階秀爾さんに思いを伝える日	
高階秀爾先生の誕生日に、ひろく一般の方を対象に、追悼の場を設けた。 実施日：令和7年2月5日(水)／会場：大原美術館 工芸・東洋館 中庭	
オフィシャルパートナー企業イベント アートサロン	
実施日：令和7年2月26日(水)／会場：大原美術館 児島虎次郎記念館 他	
児島虎次郎記念館プレオープン	
実施日：令和7年3月6日(木)／会場：大原美術館 児島虎次郎記念館	
企業版ふるさと納税贈呈式	
実施日：令和7年3月27日(木)／会場：大原美術館 児島虎次郎記念館	
三者包括連携協を締結	
加計学園、順正学園、大原芸術財団の三者で書面を交わした。	